

福岡大学病院

研修医 高岡 千容 2016年6月

福岡大学病院初期研修医2年目の高岡千容と申します。地域医療研修プログラムとして6月にお世話になり、1ヶ月間という短い期間の中で、出水総合医療センター、高尾野診療所・野田診療所・保健センター・上場診療所にて研修させて頂きました。各診療所の先生方やスタッフの方々のおかげで充実した研修となりました。本当にありがとうございました。

現在私は福岡大学病院で研修しており、訪問診療などを行う地域医療とはやや距離があります。将来は家庭医として地域医療に携わりたいと思っており、今回出水医療センターでの地域研修を希望しました。

高尾野、野田診療所では3日間程度の研修でしたが、猫咬症による排膿処置、ビール瓶による切創の外科的処置、心エコー、腹部エコーを教えていただきました。ビール瓶による切創を縫合しましたが、抜糸時にきれいに皮膚が合わさっていたのを見てうれしかったです。心エコー検査はほとんど自分で施行することがなかったので、実際に3例ほど検査をさせてもらい、非常に勉強になりました。外来での診療もほとんどしたことがなかったので、時間内で患者さんをみていく大変さを実感しました。特に紙カルテだったので初めは慣れませんでした。

上場診療所にも行かせていただきました。初めて上場診療所に行った時には、こんなところに診療所があるんだ！と驚きました。ほとんど医療器具のない診療所では、緊急で対処しなければいけない病態かをバイタルサインなどで判断する必要がありますが、私は自信がまだまだありません。病歴や身体所見の取り方をもっと学ぶ必要があると感じました。

院内研修では循環器内科研修を中心に、看護・臨床検査・臨床工学・リハビリテーション・医療安全管理・地域医療連携などの講義や体験をさせて頂きました。循環器科での研修中にも検査技師さんに心エコーを教わりながら何人かの患者さんにエコーを当てさせて頂きました。臨床検査室で、検査技師さんのずっと顕微鏡をのぞいて抗酸菌を探す姿はとても大変そうであり、今後何か検査を出すときは感謝の気持ちを持ちたいと思いました。他にも様々なメディカルスタッフの方々と関わらせていただき、とても他職種間が近く、話しやすいなと感じました。

今回の研修を通して、地域医療とは何か、地域医療ではどういったことを行っているのかのみならず、他のメディカルスタッフの方々との交流も勉強になりました。在宅医療や病院での診療を支えているのは、ほとんどが看護師、薬剤師、ケアマネージャーなどの他職種だと感じました。医学知識、技術にばかり目を向けることが多かったのですが、今回の研修を通して患者さんを取り巻く全体像を学ぶことができました。

今後、家庭医を目指す上で大変貴重な経験、体験ができたと思っています。今までリハビリ目的に転院して頂くことが多く、あまり在宅医療に関して深く考えたことはありませんでした。今後はもう少し在宅医療や介護のことなども考えて日常診療を行いたいです。